科目名 (Eng)	経済学概論(Economics)								
担当教員	吉村 忠晴								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	一般科目 (工学系４科)	4	後期	選択	1	30	一般	B	

目標基準との対応	
	福島高専の教育目標との対応：(A-1). (A-3). (C-1). (C-4).
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1).
	JABEE基準1(1)との対応：(a).(d)-(2)-d). (h).

授業の概要と方針	企業経営上の問題を解決するために必要となるミクロ経済学とその応用分野である産業組織論の基礎を学習する。さらに、競争下にある企業活動から現代の経済や社会の動向を知る。なお、講義内容に関する演習を課し、理解を深める。
到達目標	①企業を取り巻く現代の市場構造を理解し、説明することができる。 ②企業の利潤最大化行動を理解し、グラフと計算からその解を求めることができる。 ③競争下にある個々の企業の戦略を理解し、説明することができる。

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
後期	16	経済学の課題	資源配分問題と所得分配問題	①新聞等で企業やビジネスの動向を把握する
	17	経済主体と経済活動	家計・企業・政府、経済循環	
	18	市場構造	完全競争と不完全競争	②次回の授業までに前回分の授業ノートを整理する
	19	需要と供給(1)	需要関数と供給関数	
	20	需要と供給(2)	市場均衡、問題演習	③単元ごとに課される練習プリントを完成させる
	21	企業の経済活動	企業の目的、短期と長期	
	22	完全競争市場における企業行動(1)	費用と収入	④演習問題の実施記録をとる
	23	完全競争市場における企業行動(2)	最適生産量の決定、問題演習	
	24	独占市場における企業行動(1)	独占企業の価格決定	
	25	独占市場における企業行動(2)	独占均衡、問題演習	
	26	寡占市場における企業行動(1)	クールノーモデル	
	27	寡占市場における企業行動(2)	ゲーム理論	
	28	寡占市場における企業行動(3)	ナッシュ均衡、問題演習	
	29	独占的競争市場における企業行動	独占的競争における均衡、競争戦略	
	30	まとめと反省	現代の企業活動	

試験について	中間試験は実施しない。期末試験は50分の試験を実施する。 但し、再試験の受験は定められた期限内に課題を提出した者のみに認める。
評価方法	定期試験の成績を60%、課題の成績を40%として総合的に評価する。
教科書	配布プリントを使用する。
参考書	
関連科目	人文・社会科学概論A、産業経済史
履修上の注意	経済学の学習には、数学（関数、方程式、微分、偏微分）に関する基本的知識と計算能力およびグラフの作成・読解力が不可欠になるので、各自復習しておくこと。常に新聞等で企業やビジネスの動向を把握しておくこと。課題は、指定された様式に則って、期限厳守で提出すること。正当な理由もなく遅刻･欠課した者には厳しく対処する。